

鈴木太郎＊選

一般の部「白河の四季折々」◎入選

時雨忌や関を越ゆるに笠被り

奈良県奈良市堀

隼人

頤をシヨールに埋むだるま市

神奈川県茅ヶ崎市岡本

ツネ子

白河の関を偲ぶや萩の花

岩手県奥州市千

葉信

緑蔭や吉次供養の石の塔

栃木県大田原市小滝

威

五月雨の渦の揉み合ふ谷津田川

矢吹町木戸

和男

迷道我を導く秋の蝶

白河市邊見

彩華

道をしへ心の先を照らしゆく

郡山市郡司

真理子

湖に桜が散って道になる

鏡石町安齋

浩生

半眼に野仏が吐く大夕焼

古殿町野木

恵美

炎天下田んぼ千からび悔やむ親父

鏡石町野崎

遙哉

櫓床に残る弾痕秋の声

茨城県下妻市篠崎

順子

狛犬の石のやつれや紅葉散る

東京都江戸川区羽住

博之

雲の峰南湖の風に立ち上がる

矢吹町柏木

康男

関越ゆる足の強さや麦の秋

白河市鈴木

毅

蓴採る南湖の昭和遠くなり

白河市小林

富子

関の森出でて現世の青田風

矢吹町印田

弘司

結界の奥に堂あり秋はじめ

矢吹町後藤

戴子

関訪はば空濠ふはと秋の蝶

どんど焼き白河だるま身褌ぎする

白河市大平道子

白河の関に一樹の遅桜

千葉県八千代市大久保文夫

南湖てふ大きな鏡天の川

白河市佐藤佳夫

姥百合の傍に芭蕉と曾良の像

矢吹町納谷一光

南湖神社傘寿のお祓ひ冬紅葉

囃す子を乗せて山車曳く農耕機

白河市吉原瑞雲

秋風や湖上に残る鳥の滯

玉川村山崎公

秋声を拾はむと訪ふ関の杜

白河市田村幸吉

初鴨や千世の堤に声ひとつ

楽翁の夢の浄土や蓮の花

白河市小川コウ

万の蟬鳴かせ送りし神の杉

栃木県大田原市西塚とみ子

阿武隈のせせらぎ渡る祭足袋

白河市北川春子